

凍結後6カ月目までのクロレラ、テトラセルミス、およびキートセロスの凍結保存試験結果を要約すると図8に示すように、クロレラは凍害防御剤の有無には関係なく -70°C 凍結ではほぼ保存が可能であると思われる。また、テトラセルミスとキートセロスについては凍害防御剤含有培地を用いて -70°C で保存が可能であると考えられる。

以上凍結後6カ月目までの試験結果を述べたが、今後さらに継続して試験を行い、餌料藻類の凍結保存の有効性について検討したい。

II 餌料藻類の培養と性状調査

1. 新餌料生物探索調査

材料と方法

ハマフエフキなどの種苗生産時の餌料系列におけるワムシ以前の小型餌料を探索するため、昭和61年5月15日から7月30日にかけて川平湾奥部にある海上生簀と陸上500トンコンクリート池（常時注排水）で調査した。調査月日は図9に示す通りであり、方法はエアポンプの簡易ろ過装置（図10）を用いて $40\mu\text{m}$ のミューラーガーゼに約4時間採集し、その後人工気象器内で継代培養している。培養条件は温度 25°C 、光量約5000ルクス、ほぼ1週間毎に換水してクロレラとテトラセルミスを投与している。

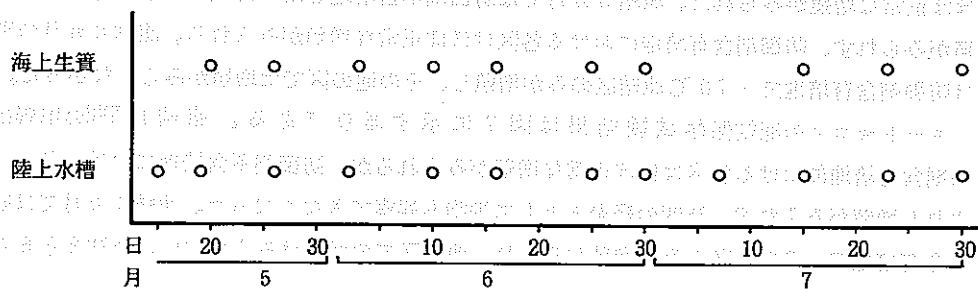


図9 調査月日

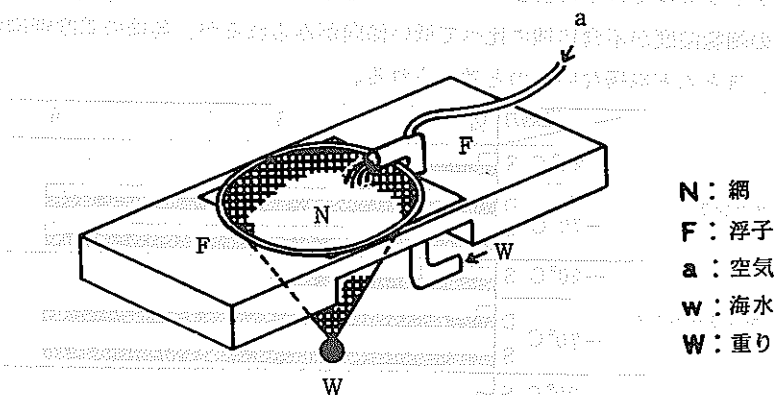


図10 採集装置の概略図

結果と考察

分類および餌料としての検討は今後行う予定である。